令和６年度　養護教諭　　（B－22）

（問題用紙は，全部で７枚である。）　　（70分）

〔注意〕解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。

1　「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　公益財団法人日本学校保健会）の内容について，次の各問いに答えなさい。

(1)　次の文章は，「第１章　学校における健康相談と保健指導の基本的な理解」からの抜粋である。空欄（　①　）～（　⑦　）に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

> 2　健康相談と保健指導の重要性と法的根拠
>
> (1)　健康相談の重要性
>
> 近年，肥満・痩身，（　①　）の乱れ，（　②　）の問題，（　③　）疾患の増加，性に関する問題など，児童生徒の心身の健康課題が複雑化・多様化している。身体的な不調の背景には，いじめ，児童虐待，不登校，（　④　）などの問題が関わっていることもある。（中略）
>
> 健康相談は，児童生徒の発達に即して一緒に心身の健康課題を解決していく過程で，（　⑤　）を深め自分自身で解決しようとする人間的な成長につながることから，健康の（　⑥　）だけでなく（　⑦　）的な意義が大きく，学校教育において重要な役割を担っている。

(2)　健康相談における養護教諭の役割について，児童生徒の心身の健康課題を発見しやすい立場であるという職務の特質を踏まえて答えなさい。

(3)　次の＜事例＞は，養護教諭の気づきから支援につながった初動の様子である。空欄（　①　）・（　②　）に当てはまる最も適当な語句をそれぞれ答えなさい。

＜事例＞

養護教諭が，健康診断の結果（肥満度曲線）を確認していたところ，陸上部Ａさんの肥満度が昨年度は「普通」だったが「やせ傾向」に変化していることに気付いた。記録を確認したところ，１年間で約８kgの体重減少が見つかった。

養護教諭は，課題の背景を把握するため，まず（　①　）・顧問にＡさんの状態を尋ねた。摂食障害の可能性を念頭に置きながらも，本人との信頼関係の構築に心掛けた。並行して状況を管理職に伝え，（　②　）に相談し，Ａさんに対して健康相談を行った。

2 「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）の内容について，次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章は，「第１章　児童，生徒，学生及び幼児の健康診断の実施　5　方法及び技術的基準　5　視力」からの抜粋である。空欄（　①　）～（　⑩　）に当てはまる語句を下のア～タからそれぞれ１つずつ選び，記号で答えなさい。

> 方法
> 1　視力表（視標）から眼までの距離は（　①　）ｍとし，立たせるか椅子にかけさせる。
> 2　眼の（　②　）と視標の（　②　）はほぼ（　③　），視標は視線に対し（　④　）に提示する。
> ＊並列（字づまり）視力表の場合は，（　⑤　）の視標ができるだけ目の（　②　）になるよう配慮する。
> 3　最初に，（　⑥　）を遮眼器等で圧迫しないように，のぞき見していないかを注意しながら遮閉する。（　⑦　）から眼を細めないで視標のランドルト環の切れ目を答えさせる。（　⑥　）についても同様に行う。
> 4　はじめに（　⑧　）の指標から開始するのを原則とする。上下左右のうち（　⑨　）方向を任意に見させ，指標の提示時間は（　⑩　）とする。

ア　5	イ　4	ウ　3	エ　1.0	オ　1.2	カ　0.3	キ　等しく
ク　直角	ケ　垂直	コ　左眼	サ　右眼	シ　幅	ス　1～3秒間	セ　3～5秒間
ソ　高さ	タ　大きさ					

(2) 次の①～⑤の文章は，健康診断時に注意すべき疾病及び異常について説明したものである。正しいものを○，誤っているものを×として答えなさい。また，誤っている場合はその箇所を抜き出して訂正しなさい。

① アレルギー性結膜炎になると眼に不快感やかゆみが現れ，ひどくなると痛みや涙，目やにが出るようになる。児童生徒等の場合は，眼をこすって角膜に傷をつけたり，結膜が腫れたりすることが少なくない。

② 心因性視覚障害は，学校生活を始めとする社会環境や家庭環境での変化や負担によるストレスに耐えられない児童生徒等に現れ，視力異常・視野障害・色覚異常・睫毛引き抜き癖・瞬目（まばたき）過多など様々な症状が現れる。中学生の女子に多い傾向にある。

③ むし歯の原因であるミュータンス菌は，口腔に食物として摂取されたショ糖を利用して多糖を合成する。この多糖は粘着性が強く他の細菌を付着させ細菌の塊（バイオフィルム）を形成する。この細菌の塊を歯石（プラーク）と呼ぶ。この細菌が酸を作り，歯を脱灰させ最終的には実質欠損がみられるようになる。実質欠損のある状態がむし歯（未処置歯：C）である。

④ 川崎病は，主として，４歳以下の乳幼児に起こる原因不明の疾患で，発熱，発疹，結膜の充血，口唇及び口の粘膜の発赤，リンパ節の腫脹等を認める。心臓に後遺症を残すことがあり，問題となる。

⑤ ２型糖尿病は，膵臓のインスリンを産生しているβ細胞がウイルス感染や自己免疫現象などによって破壊され，インスリン分泌能が著しく低下して起こる。多くは急速に発症し，口渇，多飲，多尿などの症状が現れ，糖尿病と診断される。しかし，中にはゆっくりと発症し，学校検尿で尿糖陽性者として発見される場合もある。

3 「喫煙，飲酒，薬物乱用防止に関する指導参考資料　高等学校編」（令和３年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）の内容について，次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の空欄（　①　）～（　⑥　）に当てはまる最も適当な語句を，下のア～コからそれぞれ１つずつ選び，記号で答えなさい。

・「薬物依存」は薬物乱用の繰り返しの結果，その薬物の使用に対する（　①　）を失った状態を言う。依存には，「（　②　）依存」と「（　③　）依存」がある。「（　②　）依存」とは，薬物が身体にあることが通常の状態になってしまった後，急にその薬物がなくなることにより「禁断症状（退薬症状ともいう）」が現れることである。「（　③　）依存」とは，薬効が切れてくると，その薬物をまた使いたいという「渇望」が湧いてきて，この「渇望」をコントロールできずに薬物を使ってしまう状態のことを言う。

・「薬物中毒」とは，薬物による健康被害のことを指し，「（　④　）中毒」と「（　⑤　）中毒」に分けられる。「（　④　）中毒」とは，「依存」と関係なく，「乱用」することで陥る可能性のある（　⑥　）の病態のことである。一方，「（　⑤　）中毒」とは，「依存」に陥っている人が，その薬物の使用をさらに繰り返すことによって生じる人体の（　⑤　）・持続性の異常状態のことである。

ア　身体　　イ　心身　　ウ　マインドコントロール　　エ　精神　　オ　継続性
カ　自己コントロール　　キ　常習性　　ク　一過性　　ケ　慢性　　コ　急性

(2) 次の文章の空欄（　A　）に当てはまる薬物の名称を答えなさい。また，下線部Bについて，代表的なものを１つ答えなさい。

・（　A　）は，「ゲートウェイ・ドラッグ（gateway drug）」と表現されることがある。「ゲートウェイ・ドラッグ」とは，ある物質の使用経験をゲートウェイ（入り口）として，依存性のより高い物質の使用に移行するという考え方である。

・我が国の薬物事犯で検挙人員が最も多いのは覚醒剤事犯であるが，2017年（平成29年）に実施された調査（平成29年度厚生労働科学研究費補助金「薬物乱用・依存状況等のモニタリング調査と薬物依存症者・家族に対する回復支援に関する研究」）によると，各薬物の推定使用者数は（　A　）が最も多く，約130万人（生涯経験率1.4%），次いでB有機溶剤が約100万人（同1.1%），覚醒剤が約50万人（同0.5%）であった。

4 次の文章は，「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」（平成31年３月　文部科学省）の性に関する指導の留意点の内容である。空欄（　①　）～（　③　）に当てはまる最も適当な語句をそれぞれ答えなさい。

・学校における性に関する指導は，教育課程において実施されることから，学習指導要領に基づいて行うことが重要である。その指導は，児童生徒が性に関して正しく理解し，適切に行動を取れるようにすることを目的に実施されており，体育科，保健体育科，特別活動をはじめとして，学校教育活動全体を通じて指導することが大切である。それらを踏まえて，次の点に改めて配慮する必要がある。

・児童生徒の発達段階を踏まえること
・学校全体で共通理解を図ること
・家庭・地域との連携を推進し（　①　）や地域の理解を得ること
・（　②　）指導と（　③　）指導の連携を密にして効果的に行うこと

5 「学校保健安全法施行規則」（昭和33年文部省令第18号）の内容について，次の各問いに答えなさい。

(1) 第18条では，学校において予防すべき感染症の種類が示されている。次のア～カの感染症は，第一種から第三種のいずれに分類されるか，それぞれ答えなさい。

ア　ジフテリア　　イ　流行性角結膜炎　　ウ　コレラ　　エ　麻しん

オ　髄膜炎菌性髄膜炎　　カ　急性灰白髄炎

(2) 第19条では，出席停止の期間の基準が示されている。次の①・②の感染症について，出席停止の期間の基準をそれぞれ答えなさい。

①　流行性耳下腺炎　　②　水痘

6 「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月　公益財団法人日本学校保健会）の内容について，次の各問いに答えなさい。

(1) 感染症に関する基本的理解について，次の各文の空欄（　①　）～（　⑥　）に当てはまる最も適当な語句をそれぞれ答えなさい。

・（　①　），感染経路，（　②　）の三つを，感染症成立のための三大要因という。
・主な感染経路には，（　③　）感染，（　④　）感染，（　⑤　）感染，（　⑥　）感染，節足動物媒介感染等がある。

(2) 「標準予防策（standard precautions）」について説明しなさい。

7　学校における環境衛生検査について，次の各問いに答えなさい。

(1)　次の文章は，「学校保健安全法施行規則」（昭和33年文部省令第18号）の抜粋である。空欄（　①　）～（　⑥　）に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

> （環境衛生検査）
> 第一条　学校保健安全法（昭和三十三年法律第五十六号。以下「法」という。）第五条の環境衛生検査は，他の法令に基づくもののほか，（　①　）に，法第六条に規定する学校環境衛生基準に基づき行わなければならない。
> 2　学校においては，必要があるときは，（　②　）に，環境衛生検査を行うものとする。
> （（　③　）における環境衛生）
> 第二条　学校においては，前条の環境衛生検査のほか，（　③　）的な（　④　）を行い，環境衛生の（　⑤　）又は（　⑥　）を図らなければならない。

(2)　「学校環境衛生基準」（令和４年文部科学省告示第60号）に示されている教室等の環境に係る基準について，空欄（　①　）～（　⑦　）に当てはまる数値を下のア～セからそれぞれ１つずつ選び，記号で答えなさい。また，空欄（　A　）に当てはまる数値を答えなさい。

検査項目		基　準
換気及び保温等	換気	換気の基準として，二酸化炭素は，1500 ppm 以下であることが望ましい。
	温度	（　①　）℃以上，（　②　）℃以下であることが望ましい。
	相対湿度	（　③　）%以上，（　④　）%以下であることが望ましい。
	浮遊粉じん	（　⑤　）mg/m^3 以下であること。
	気流	（　⑥　）m/秒以下であることが望ましい。
	一酸化炭素	（　A　）ppm 以下であること。
	二酸化窒素	（　⑦　）ppm 以下であることが望ましい。

ア　0.03　　イ　0.06　　ウ　0.10　　エ　0.5　　オ　1.0　　カ　5
キ　10　　ク　17　　ケ　18　　コ　20　　サ　27　　シ　28
ス　30　　セ　80

8 「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成21年３月　文部科学省）の内容について，次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章は，「第１章　健康観察」からの抜粋である。空欄（　①　）～（　⑧　）に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

> ３　健康観察の法的根拠
>
> 健康観察は，（　①　）（H20.1.17）「子どもの心身の健康を守り，安全・安心を確保するために学校全体の取組を進めるための方策について」で，その重要性が述べられており，（　②　）（H21.4.1施行）においても，健康観察が新たに位置付けられ，充実が図られたところである。
>
> （　①　）（H20.1.17）
>
> > Ⅱ　学校保健の充実を図るための方策について
> >
> > ２．学校保健に関する学校内の体制の充実
> >
> > (3) 学級担任や教科担任等
> >
> > （中略）
>
> （　②　）（H21.4.1施行）
>
> > （保健指導）
> >
> > 第（　③　）条　養護教諭その他の職員は，相互に連携して，健康相談又は児童生徒等の（　④　）の日常的な観察により，児童生徒等の（　⑤　）を把握し，（　⑥　）の問題があると認めるときは，遅滞なく，当該児童生徒等に対して必要な（　⑦　）を行うとともに，必要に応じ，その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な（　⑧　）を行うものとする。

(2) 健康観察の目的は，大きく３つに分けられる。次の文は，目的のうち１つを述べたものである。残り２つを簡潔に答えなさい。

> 日々の継続的な実施によって，子どもに自他の健康に興味・関心をもたせ，自己管理能力の育成を図る。

9 「救急蘇生法の指針2020（市民用）」（日本救急医療財団心肺蘇生法委員会）における市民による救急蘇生法の主な変更点について，次の①～④の文の内容が正しければ○，誤っていれば×とすると，○×を正しく組み合わせているものはどれか，下のア～オから１つ選び，記号で答えなさい。

① 傷病者に反応がない場合だけ，119番通報とＡＥＤの要請を行うようにした。

② 「普段どおりの呼吸」がない場合だけでなく，「普段どおりの呼吸」かどうかの判断に迷う場合にも，ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を開始することを明示した。「死戦期呼吸」の用語は手順の図の中では用いないこととした。

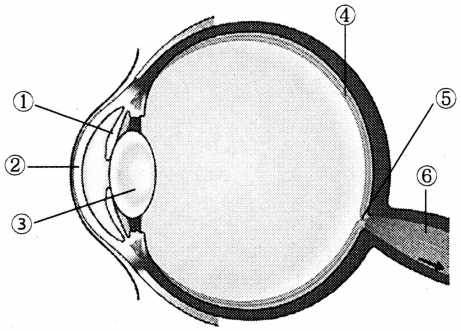
③ ＡＥＤについて，従来の「未就学児用パッド（モード）」を「小児用パッド（モード）」に，「小学生～大人用パッド」を「成人用パッド」に名称を変更した。

④ 気道異物による窒息で反応はあるが，声が出ない，強い咳ができない傷病者には，まず手技が容易で，害もない腹部突き上げ法を試み，腹部突き上げ法で異物が除去できない場合は，次に背部叩打法を行うこととした。

	①	②	③	④
ア	○	○	×	○
イ	○	×	○	×
ウ	×	○	○	×
エ	×	○	×	×
オ	○	×	×	○

10　眼球のつくり及び眼のけがについて，次の各問いに答えなさい。

(1)　次の図の①～⑥の部位の名称をそれぞれ答えなさい。



(2)　ボール等で眼や眼の周囲を打った（眼球打撲した）時に，起こる可能性のある外傷・病名を２つ答えなさい。

11　次の各文は，「保健主事のための実務ハンドブック―令和２年度改訂―」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）からの抜粋である。下の各問いに答えなさい。

- 保健主事は，学校保健を推進する上でのキーパンソンであり，その役割を十分に果たせるかどうかは，学校保健が活発に機能するかどうかを左右すると言えるでしょう。
- 保健主事には，学校保健の目標を実現するために，【　X　】の能力を身に付け，各活動が効率よく展開されるよう環境づくりをすることが求められています。
- 保健主事に求められる【　X　】には，学校保健活動全体を視野に入れ，教職員，スクールカウンセラーなどの専門スタッフ，（　①　）の関係機関等に効果的に働きかけることがあります。
- 保健主事は，学校保健と学校全体の活動に関する（　②　），（　③　）の作成と実施，学校保健に関する組織活動の推進など，学校保健に関する事項の管理に当たります。

(1)　空欄【　X　】に当てはまる語句を答えなさい。

(2)　空欄（　①　）～（　③　）に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

令和６年度　養護教諭　　（B－22）

解　答　用　紙　　（70分）

試験区分	養護教諭	氏名	

受験番号		※	

※印は記入しない

1	(1)	①		②		③					
		④		⑤		⑥					
		⑦									
	(2)										
	(3)	①		②							
2	(1)	①		②		③					
		④		⑤		⑥					
		⑦		⑧		⑨					
		⑩									
	(2)		正誤（○×）	訂正							
		①		→							
		②		→							
		③		→							
		④		→							
		⑤		→							
3	(1)	①		②		③		④			
		⑤		⑥							
	(2)	A		B							
4	①			②		③					
5	(1)	ア		イ		ウ		エ			
		オ		カ							
	(2)	①									
		②									
6	(1)	①		②		③					
		④		⑤		⑥					
	(2)										

試験区分	養護教諭	氏名	

受験番号		※

※印は記入しない

7	(1)	①		②		③					
		④		⑤		⑥					
	(2)	①		②		③		④			
		⑤		⑥		⑦		A			
8	(1)	①		②		③		④			
		⑤		⑥		⑦		⑧			
	(2)										
9											
10	(1)	①		②		③					
		④		⑤		⑥					
	(2)										
11	(1)										
	(2)	①		②		③					

令和６年度　養護教諭　　（Ｂ－22）

解　答　用　紙　　（70分）

試験区分	養護教諭	氏名	

受験番号		※	

※印は記入しない

1

(1)　1点×7

①	生活習慣	②	メンタルヘルス	③	アレルギー
④	貧困	⑤	自己理解	⑥	保持増進
⑦	教育				

(2)　3点

いじめや児童虐待などの早期発見、早期対応に果たす役割。健康相談や保健指導の必要性の判断、受診の必要性の判断ができる。医療機関などの地域の関係機関等との連携におけるコーディネーターの役割。

(3)　1点×2

①	学級担任	②	学校医

2

(1)　1点×10

①	ア	②	ソ	③	キ
④	ケ	⑤	エ	⑥	コ
⑦	サ	⑧	カ	⑨	イ
⑩	セ				

(2)　2点×5

	正誤（○×）	訂正
①	○	
②	×	中学生→小学生
③	×	歯石→歯垢
④	○	
⑤	×	2型糖尿病→1型糖尿病

3

(1)　1点×8

①	カ	②	ア	③	エ	④	コ
⑤	ケ	⑥	ク				

(2)

A	大麻	B	シンナー、トルエンなど

4　1点×3

①	保護者	②	集団	③	個別		

順不同

5

(1)　4点（完全解答）

ア	第一種	イ	第三種	ウ	第三種	エ	第二種
オ	第二種	カ	第一種				

(2)　2点×2

①	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
②	すべての発しんが痂皮化するまで。

試験区分	養護教諭	氏名	

受験番号		※

※印は記入しない

順不同

6

(1) 1点×6

①	病原体	②	感受性宿主	③	空気（飛沫核）
④	飛沫	⑤	接触	⑥	経口（糞口）

(2) 3点

糞便・血液・体液・吐物等には感染性病原体が含まれていることが多く，これらに接するときは，素手で扱うことを避け，手袋をすること，必要に応じてマスクやゴーグルをつけること，接した後は手洗いをより丁寧に行うことなど，感染症予防の基本である。

7

(1) 1点×6

①	毎学年定期	②	臨時	③	日常
④	点検	⑤	維持	⑥	改善

(2) 1点×8

①	ケ	②	シ	③	ス	④	セ
⑤	ウ	⑥	エ	⑦	イ	Ⓐ	6

8

(1) 1点×8

①	中央教育審議会答申	②	学校保健安全法	③	九	④	健康状態
⑤	心身の状況	⑥	健康上	⑦	指導	⑧	助言

(2) 2点×2

子どもの心身の健康問題の早期発見・早期対応を図る

感染症や食中毒などの集団発生状況を把握し，感染の拡大防止や予防を図る

9

エ　1点

10

(1) 1点×6

①	虹彩	②	角膜	③	水晶体
④	網膜	⑤	視神経乳頭	⑥	視神経

(2) 1点×2

結膜下出血，網膜振盪症，前房出血，網膜剥離，眼窩吹き抜け骨折　から２つ

11

(1) 2点

マネジメント

(2) 1点×3

①	地域	②	調整	③	学校保健計画